

◆団体基本情報

No.	5	種別	公益財団法人	団体名	公益財団法人仙台市健康福祉事業団		
所在地	〒980-0013 仙台市青葉区花京院1-3-2						
電話番号	022-215-3192		FAX番号	022-215-4140		所管 部局	健康福祉局 高齢企画課
団体ホームページ	https://www.senkenhuku.com/						
代表者職氏名	理事長 芳賀 洋一			設立年月日		平成3年3月28日	
基本財産等		200,000 千円		市の出捐額(割合)		200,000 千円 (100.0 %)	
設立 目的	仙台市民一人一人が心豊かに健康で共に生きる社会（豊齢化社会）の実現に向けた生きがい・健康づくりの支援、介護知識の普及等を行い、もって市民福祉の向上を図ること。						
事業 概要	・市民の健康福祉意識の醸成及び啓発 ・市民の生きがい及び健康づくりの支援 ・高齢者等の介護に関する研修 ・仙台市等から委託を受けて行う要介護認定等に係る認定調査 ・仙台市からの指定を受けて行う「仙台市シルバーセンター」及び「仙台市健康増進センター」の管理運営 (公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律別表（第2条関係）第3～6号の公益目的事業に該当)						
評価対象決算期		令和7年4月1日～令和8年3月31日					

◆人員等の状況

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
①常勤役員数	2 人	2 人	2 人
うち市派遣	0 人	0 人	0 人
市退職者	2 人	2 人	2 人
②常勤役員平均年齢	62.0 歳	63.0 歳	62.0 歳
③常勤役員平均年間報酬	5,257 千円	5,366 千円	5,724 千円
④職員数	140 人	134 人	136 人
うち市派遣	0 人	0 人	1 人
市退職者	2 人	2 人	1 人
⑤職員平均年齢	50.7 歳	50.5 歳	51.3 歳
⑥職員平均年間給与	3,978 千円	4,217 千円	4,335 千円

◆主要財務データ

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
①当期経常増減額	△ 2,382 千円	△ 5,712 千円	△ 4,131 千円
②当期経常外増減額	0 千円	0 千円	0 千円
③当期一般正味財産増減額	△ 2,705 千円	△ 5,834 千円	△ 4,253 千円
④一般正味財産期末残高	△ 2,398 千円	△ 8,232 千円	△ 12,485 千円
⑤指定正味財産期末残高	200,000 千円	200,000 千円	200,000 千円
⑥正味財産期末残高	197,602 千円	191,768 千円	187,515 千円
⑦長期借入金残高	0 千円	0 千円	0 千円

◆市の財政的関与

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
①市からの補助金	178,524 千円	180,283 千円	182,306 千円
②市からの委託料（指定管理料含む）	905,072 千円	843,503 千円	854,000 千円
③市に対する収入依存度	98.68 %	99.08 %	99.04 %
④市からの借入金	0 千円	0 千円	0 千円
⑤市からの債務保証に係る債務残高	0 千円	0 千円	0 千円
⑥市からの損失補償に係る債務残高	0 千円	0 千円	0 千円

◆主要事業一覧及び概要

事業名	事業概要	令和7年度事業費
訪問調査受託事業	仙台市及び他市町村から委託を受けて行う要介護認定及び障害支援区分認定の為の訪問調査	450,188 千円
健康増進センター管理運営事業	施設・設備等の管理及び運営、使用料の徴収、広報、生活習慣病予防、障害者の健康づくり・介護予防等の事業	208,332 千円
シルバーセンター管理運営事業	施設・設備等の管理及び運営、使用料の徴収、広報、総合相談等	131,161 千円
いきがい健康づくり事業	豊齢化社会づくりの柱である、市民の生きがいづくり、健康づくりを支援するための各種事業	129,564 千円
介護研修事業	高齢者等の介護に関する研修、相談及び情報提供	53,919 千円

◆経営評価の総括

項目	外郭団体による総括	所管局によるコメント
1. 公益的使命・市が期待する役割への対応	高齢者が意欲的に活躍できる環境づくりの推進として、豊齢学園による社会活動の担い手への支援強化や修了後の社会活動促進のための交流事業等を開催した。介護・フレイル予防の取り組みでは、高齢者運動教室の実施やフレイルサポーターを養成・活用して、フレイル予防の啓発を行った。健康づくり支援では、働き盛り世代を対象とした生活習慣病予防・改善講座や障害特性に合わせた障害者向け健康づくり教室を開催した。その他、市民向け介護講座の開催や、要介護認定調査では、タブレット端末を活用して認定調査の効率化を図った。 事業団が取り組む、生きがい・健康づくり支援の必要性は年々高まってきており、これまでの事業実績や専門知識を生かして、民間事業者では取り組みにくい長期的観点からアプローチする事業の役割は重要と考えている。	社会活動の担い手としての高齢者に対する期待の高まりを背景に、高齢者の社会参加活動の支援や健康づくり、介護予防・フレイル予防の推進、介護人材の育成などに取り組んでいただいた。特に、昨年度は働き盛り世代を対象とした健康づくりセミナーを実施するなど、将来を見据えた健康寿命延伸にも取り組んでいただいている。 今後も地域ニーズを捉えつつ、高齢者を取り巻く情勢の変化に対応することを意識しながら、公益的使命を果たしていただきたい。
2. 業務・組織管理	組織内のコミュニケーション活性化を図るため、職員と意見交換する機会を設け、組織の円滑化を進めるとともに、毎回新たなテーマを設けて研修を行い職員の資質向上を図った。併せて、オンラインを活用した会議や事業展開などの環境整備を行い、業務の効率化や新たな事業展開に取り組んだ。 また、定年延長及び再雇用制度、人事評価制度による適正な人事管理と効果的な人材育成、仕事と生活の調和を図り働きやすい雇用環境整備を行うための行動計画を策定し、環境の変化に柔軟に対応できる組織体制の向上に努めた。	オフサイトミーティングの開催など、組織内のコミュニケーション活性化や職員研修の実施により、組織運営の円滑化と人材育成に取り組んでいただいた。また、オンライン会議システムの活用やペーパーレス化等の業務効率化に向けた組織横断的な検討、適切な進捗管理により、事業を着実に実施していただいております。引き続き持続可能な組織運営を行っていただきたい。

3. 財務状況	シルバーセンターの休館に伴う影響を受けつつも、適正な受益者負担のうえで収益の維持確保を図った。仙台市からの補助金、委託料が収入の大部分を占める状況ではあるが、今後は、講座受講料金の見直しや講座参加者増の取り組みを検討し、自主財源の確保を行い、計画的・効率的な予算の執行に努めてまいりたい。	シルバーセンター休館の影響により事業が制限される中、自主事業受講者の獲得に向けて代替施設で講座を開催するなど、事業収益の確保に努めていただいた。限られた財源で計画的かつ効率的な予算執行に取り組んでいただいております、引き続き安定的な事業運営に向けた財務基盤の確保を期待する。
4. 今後の方向性及び課題	仙台市高齢者保健福祉計画や中期事業計画等に基づき事業の推進を図り、高齢者の社会参加の促進、介護・フレイル予防など、高齢者の生きがいと健康づくりを支える取り組みや支援の充実を図るとともに、生活習慣病予防・改善、障害者の健康づくり、地域や民間商業施設との連携によるアウトリーチ事業など、実施状況を評価しながら事業を充実させ、参加者の増加や新規獲得など、市民ニーズの掘り起こしや社会情勢に応じた事業運営に努めたい。 また、シルバーセンター及び健康増進センターの施設運営については、不特定多数、特に多くの高齢者や障害者が来館する施設であることを踏まえて、安全管理に十分配慮し快適な施設の利用促進を図る。	地域や民間事業者と連携しながら、高齢者の生きがいづくりや社会参加の促進、介護予防・フレイル予防の推進、アウトリーチ事業の実施など、市の施策に沿った取組を引き続き進めていただきたい。また、改修を終えたシルバーセンター及び健康増進センターの効果的な利活用を促進していただき、引き続き市民サービスのさらなる充実を図っていただくとともに、社会情勢や市民ニーズを踏まえた事業運営を期待する。